



東京都議会議員  
公明党豊島総支部長

## 長橋けい一

「ごあいさつ 一人との『出会い』を力に都政を動かす」

日ごろからの公明党に対する温かいご支援、誠にありがとうございます。

心から感謝申し上げます。

3期12年間、皆さま一人ひとりの『出会い』を力に、発達障害などの診療を行う児童精神科外来（都立大塚病院）の設置や、街のバリアフリー化、防災・減災対策の推進など、数多くの政策を実現することができました。

今後も、一人との『出会い』を大切に、力強く都政に取り組んでまいります。皆さまのさらなるご支援を、よろしくお願い申し上げます。

# 子供家庭総合センター

## いじめ、不登校、発達障害など

### 子供に関するあらゆる相談に対応

東京都は2月、いじめ、不登校、児童虐待、発達障害などで悩む子どもと家庭を総合的に支援する「東京都子供家庭総合センター」を開設します。

これまで別々の場所にあった「児童」「教育」「少年」の各相談センターを「力所にまとめ、各機関の相談窓口を一本化。あらゆる相談に応じる総合

窓口になります。専門性を活かした相談対応を行うほか、子どもと親を一体的に支援し、心のケアなども実施します。

都議会公明党は同センターの開設を力強く推進してきました。

広がる発達障がい児への支援  
(次ページ)→

### 東京都子供家庭総合センター

◆東京都児童相談センター(2月18日から業務開始)  
18歳未満の子どもに関する相談全般 電話／03-5937-2302

◆東京都教育相談センター(2月12日から業務開始)  
いじめ、不登校、発達障害、自傷・自殺予防、高校進級、外国人児童・生徒相談など 電話／03-3360-4172

◆警視庁新宿少年センター(2月21日から業務開始)  
非行やいじめ、犯罪などの被害で精神的ショックを受けている少年の相談など 電話／03-3227-8335



がオープン！

首都直下地震を想定し、木密地域の火災の防止策が急がれている



## 街を火事などの災害から守る! 「不燃化10年プロジェクト」

道路の拡幅を10年で行うプロジェクトです。

道路を整備することで火災による延焼を防げるようになるほか、消防車などの緊急車両が通りやすくなり、迅速な消火・救援活動ができるようになります。

**長橋都議と公明区議団が連携**

長橋都議は昨年4月に地元住民と都庁に申し入れを行い、公明党豊島区議団も豊島区がプロジェクトの対象に選定されるよう区議会で訴えてきました。

この結果、昨年6月に東京都が発表した特定整備路線の候補23カ所に、豊島区から補助第73号線、補助第81号線など7つの道路が選ばれました。



**災害時の飲み水を確保 消火栓の活用促進も**

東京都は、地震災害などで断水になった場合でも住民の水を確保できるように、給水所などの11施設の改造を行いました。また、都内の約14万カ所の消火栓なども利用できるように、地元区市町と連携しながら町会、自治会などの合同訓練参加を促進しています。

なお、豊島区には応急給水施設が2カ所(西池袋公園と都立文京高校)、消火栓が2483カ所あります。

**公明党無料法律相談のご案内** 毎月第1、3木曜日 区役所4F公明控室 PM2:00～

◎その他お困りの時は＝区役所公明控室 **TEL:3981-1428 FAX:3590-4628**

豊島区の区民相談 電話予約 **3981-4164** (区民相談係)

公明党豊島区議団公式HP「SUNシャイン豊島」 <http://toshima-komei.gr.jp/>

公明党豊島区議団E-mail [toshima@a.toshima.ne.jp](mailto:toshima@a.toshima.ne.jp)

ご意見、ご要望をお寄せ下さい



# 出会いを生み、出会いで生まれた

長橋けい一 <sup>いち</sup> 3期 12年 の実績



『いのちと未来』に真剣

## 都立大塚病院に 児童精神科外来を開設

都立大塚病院に発達障害など、子どもの心に関わる診療を行う「児童精神科外来」が開設されたのは2009年10月1日。以来、多くの親子を支えています。

開設のきっかけは、長橋けい一都議と発達障害がいの母親との「出会い」でした。長橋都議は04年にその声を聞き公明党国会議員と連携、同年12月の「発達障害者支援法」の成立を後押ししました。

支援が大きく進む

さらに、長橋都議は東京都議会でもこの問題を取り上げ、発達障害がいの児への支援を行うセンターの増設・拡充を要請。児童精神科外来の開設へと導きました。

東京都の発達障害がいの者への支援は進み、今年2月に「子供家庭総合センター」(1ページ目参照)。

## 一人の声を国へ、東京都へ!

4月に、都内の4区市の小学校で発達障害がいの児を対象とした特別支援教室の開設も。  
一人の声から国政、都政を動かし、支援の取り組みを大きく広げました。



都立大塚病院の児童精神科外来棟



長橋都議は発達障害がいの者への支援拡充に粘り強く取り組んでいる

## 『元気な街』に真剣 サンシャイン周辺の バリアフリー化

池袋のシンボルのサンシャインシティ周辺の歩道に音声信号機と視覚障害がいの者誘導用ブロック(点字ブロック)が設置されました。

きっかけは、サンシャインシティ周辺に音声信号機や点字ブロックのない場所が多く、視覚障害がいのある通勤者が身の危険を感じていると、長橋都議が聞いたことでした。

すぐに長橋都議は、その通勤者と一緒に通勤路を歩き、音声信号機や点字ブロックの設置状況を調査し、都に設置を要請。また公明党豊島区議団もバリアフリー化を急ぐよう議会で訴えるなどしてきました。



設置された音声信号機と点字ブロック

「長橋さんの行動のスピードは速い! いろいろな人の話を聞いてもらって、さらによい街づくりを達成してもらいたい」  
(視覚障害がいのある通勤者)

### このほかにも実現!

- ◆商店街の街灯のLED化への補助事業
- ◆中小企業の経営相談の拡充
- ◆新卒者相談窓口の機能強化
- ◆障がい者のチャレンジ雇用の延長と受け入れの拡大



©NEW KOMEITO



JR池袋駅で行われた帰宅困難者対策訓練=2012年2月3日

## 『防災・減災』に真剣 大震災時の混乱を防ぐ 帰宅困難者対策 条例の制定

東日本大震災では、多くの帰宅困難者が発生し、JR池袋駅周辺などで大きな混乱が起きました。

この経験を踏まえ、東京都議会公明党は帰宅困難者対策条例の制定を推進。企業への水と食糧の備蓄要請、外出中に地震に遭った人が利用できる一時滞在施設の確保などを進めます。

### このほかにも実現!

- ◆道路・橋・上下水道の耐震化



©NEW KOMEITO

### 実現しました!

- ◆被災地の地域経済を支援する「被災地応援ツアー」
- ◆被災地の農業団体と連携して都内で物産展を開催
- ◆被災地の子どもたちの夢と希望を育むスポーツ交流事業

## 『被災地の明日』に真剣

「都立病院の中に、このような科が『できる』というのは本当にものすごく大変なこと。情けに深い部分をずっと持ち続けてこれからも是非よろしくお願いいたします」  
(発達障害がいの児を持つ母親)

### このほかにも実現!

- ◆がん検診の無料化の拡充
- ◆子宮頸がんワクチンの中学生への全額助成
- ◆不登校、いじめ対策として「スクールカウンセラー」の豊島区の全公立小中学校への配置
- ◆妊婦健診への助成を14回に大幅拡充



©NEW KOMEITO